

お元気ですか



八女市議会です

議会だよりやめ No.170 令和2年11月1日

CONTENTS

—おもな内容—

9月定例会から 令和元年度決算を認定	2
ここが聞きたい！ 一般質問12人の議員が登壇	8
委員会からの活動報告	15
聞いてきましたまちの声（表紙関連インタビュー）	15
「八女手すき和紙組合」	20



手すき和紙職人の技

9月 定例会

9月定例会は、8月26日から9月16日までの22日間の会期で開催しました。市長から一般会計補正予算案や条例改正案、人事案などが提案され、いずれも原案どおり可決・同意しました。また、令和元年度決算認定（一般会計、特別会計、水道事業会計）について審査し認定しました。

議員や委員会から意見書案2件と議会基本条例改正案が提案され、可決しました。（採決結果18～19ページ・意見書17ページ・議会基本条例改正16ページ）

予算は適正に使われたか 令和元年度一般会計決算を認定

9月定例会では、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、令和元年度一般会計の決算審査が行われました。

議会が当初議決した趣旨と目的に沿って適正かつ効率的に予算を執行されたのか、また、住民サービスや住民福祉の向上に効果が発揮できたのかなどを検証し審査するため、分科会（各常任委員会）で審査に当たりました。



一般会計決算の状況

令和元年度の歳入は391億9698万円、歳出は377億2035万円でいずれも前年度と比べて増えています。歳入面は、寄附金や基金からの繰入金が増えたことによるものです。歳出面は、ふるさと支援寄附金に係る経費や基金積立金、令和元年8月豪雨災害による災害復旧事業費が増えています。

歳入歳出差引額から令和2年度に繰り越して使うべき財源額を除いた実質収支は、5億4545万円の黒字となり、この中から3億円が基金に積み立てられています。

令和元年度一般会計決算状況

歳入総額：391億9698万円 前年度比+5.7%

歳出総額：377億2035万円 前年度比+5.1%

9億3116万円 繰り越すべき額

実質収支額：5億4545万円 ⇒黒字決算

《決算状況および記事の金額は千円以下切り捨て》

経常収支比率

98.1%

財政指標はどうなっているか

人件費や扶助費、公債費などの経常的な支出が市税などの経常的な収入に占める割合を表す経常収支比率は98.1%（平成30年度95.7%）で増加傾向にあり、財政の硬直化と市の独自事業の抑制が懸念されます。

実質公債費比率（3年平均）

令和元年度

9.0%

早期健全化基準※

25.0%

財政健全化法に基づく結果は良好

借金返済の負担の大きさを表す実質公債費比率は9.0%で、前年度より0.2ポイント増えていますが、早期健全化基準を大きく下回っています。このほかの財政健全化法に基づく指標からも市の財政は良好な状況と認められます。

※早期健全化基準：財政健全化法に規定された基準で、基準値を超えた場合は財政再生計画を定め自主的な財政の健全化が求められます。

令和元年度予算の主な使いみち

事業を
ピックアップ

ひとづくり

新たに産前・産後サポート事業、子育て相談支援事業の強化を行い、ひきこもり対策事業、健康ポイント事業を通じて、安心して子どもを産み育て、あらゆる世代の方が健やかに暮らしていける切れ目のない支援が充実されました。

- 利用者支援(母子保健型)・産前産後サポート・産後ケア事業 7 2 6 万円
- 利用者支援(基本型)事業 2 6 8 万円
- ひきこもり対策推進事業 5 3 6 万円



- 北山保育所建築事業 4 億 2 4 5 2 万円
(内、2 億 6 7 6 0 万円を令和2年度に繰り越し)
- 健康ポイント事業 3 2 7 万円

しごとづくり

農業生産基盤の強化や森林資源の活用を図り、後継者の育成や農業と福祉による連携事業、サテライトオフィス誘致活動の促進などに取り組みました。

- 新規就農促進支援事業 9 2 1 5 万円
- 農福連携推進事業 1 3 万円
- 地域しごとづくり拠点施設運営事業 2 6 1 万円

まちづくり

生活道路等の整備、危険空き家対策、ため池ハザードマップの作成、自主防災組織の強化により地域力を高め、安全で安心して暮らせるまちづくりによる移住・定住の促進を図りました。

- 生活道路整備事業 1 1 億 2 0 4 4 万円
- 老朽危険家屋等除却推進事業 4 4 7 万円
- 農村地域防災減災事業 3 5 3 9 万円
- 防災対策事業 2 7 8 4 万円

決算審査特別委員会の審査結果

〔認定第1号〕令和元年度八女市各会計歳入歳出決算認定については、一般会計、特別会計ともに各分科会からの指摘事項はありませんでした。討論において反対討論が1件あり、採決の結果、賛成多数で認めることに決しました。

〔認定第2号〕令和元年度八女市水道事業会計決算認定についても指摘事項はありませんでした。採決の結果、全会一致で認めることに決しました。

決算認定に反対 (本会議採決討論要旨)

この数年、近隣自治体に比べて飛びぬけて多い差し押さえが行われている。強権的な手法ではなく、ファイナンシャルプランニング業務などをさらに充実させて税の滞納を減らすべき。

免除、減免、軽減策などの制度は、本人が申請しなければ恩恵を受けることができない。市民への周知などを徹底し、一人も漏れがないように対処することを求める。

同関係事業に多額な支出が行われている。不公正な同和行政はやめるべき。

図書館が市民にどれだけ貢献したかという指標の一つに、市民1人当たり何冊貸し出したかという指標がある。八女市は3冊で、南筑後地区8自治体で最下位となっている。数字が全てとは言わないが、何らかの対策をとる必要があるのではないか。

(森 茂生)

地域の資源を生かし集客を

令和3年4月オープンに向けキャンプ施設を設置する条例を制定



奥八女焚火の森キャンプフィールド
完成予定イメージ

八女市奥八女焚火の森キャンプフィールド条例の制定について

黒木町笠原地区の森林環境を生かし、地域住民と連携した木育の推進と観光の振興による市の活性化を目指したキャンプ施設「奥八女焚火の森キャンプフィールド」を設置するために必要な事項を定めるもの。

この条例案は、建設経済常任委員会に付託され審査を行いました。今後の運営や指定管理者の選定についての質疑などが行われています。

(委員会審査7ページ)

また、委員会審査において、集客力を高めるため「笠原には旭座人形芝居(浄瑠璃)や靈巖寺などいろいろな観光施設がある。キャンプシーズン以外にも地域の観光資源と結びつけて集客できるようにやっていただきたい。」と要望しました。

べんがら村

指定管理者決まる

指定管理者

株式会社Y Mサービス

指定管理期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日

問 Y Mサービスの事業計画書に、地元生産者との連携は不可欠とあるが、された事業計画書を基に、今後、行政としてはどうしていくのか。

答 野菜などの生産物を販売するだけでなく、レストランで使用したりすればと思っています。

人事案件

人権擁護委員候補者

次の方を推薦することに
同意しました。

おがわ ひろし 氏
小川 完 氏
はしもと しげき 氏
橋本 重喜 氏

補正 予算

災害復旧や新型コロナ対策へ

一般会計に10億6207万8千円を追加し、総額を507億5805万9千円とする案を原案のとおり可決しました。

主に災害復旧事業関連予算として、小規模土地改良事業費補助金、農業経営対策事業費補助金、社会体育施設災害復旧工事費などが、また、新型コロナウイルス感染症対策関連予算（緊急対策第4弾）として、新型コロナウイルス感染症対策妊産婦応援金や保育所等応援金などが計上されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止せざるを得ないイベント等の予算は減額されました。

（委員会審査6～7ページ）

主な補正予算

- ・ 小規模土地改良事業費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5000万円
- ・ 農業経営対策事業費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3270万円
- ・ 社会体育施設災害復旧費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2900万円
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策妊産婦応援金・・・・・・・・・・ 4000万円
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策保育所等応援金・・・・・・・・・・ 1450万円

全国市議会議長会表彰

市議会議員として長きにわたり市政の振興、発展に尽くされた功績により、第96回全国市議会議長会の定期総会において4名の議員が表彰されました。



議員25年以上

松崎 辰義 議員



議員15年以上

井上 賢治 議員



議員10年以上

服部 良一 議員



議員10年以上

角田 恵一 議員

総務文教

審査の主なもの

- 令和2年度八女市一般会計補正予算(第5号) 【全会一致で可決】
 - ・一般管理費(新型コロナウイルス感染症対策地域活動支援金).....2550万円
 - ・安全安心対策費(新型コロナウイルス感染症対策自主防災組織活動支援金).....6540万円
 - ・賦課費(軽自動車税システム改修業務委託料).....88万円
 - ・学校管理費(庁用器具費・小学校).....600万円
 - ・学校管理費(庁用器具費・中学校).....400万円
- 令和元年度八女市各会計歳入歳出決算認定 【賛成多数で認定】

厚生

審査の主なもの

- 令和2年度八女市一般会計補正予算(第5号) 【全会一致で可決】
 - ・介護保険事業費.....5874万円
 - ・児童給付費.....2060万円
 - ・母子衛生費.....4038万円
- 令和元年度八女市各会計歳入歳出決算認定 【全会一致で認定】

行政区活動へコロナ対策支援

問 新型コロナウイルス感染症対策地域活動支援金の内容は。

答 自治公民館等が行政区に1カ所以下の場合には10万円であり、自治公民館等が1カ所増えるごとに5万円ずつ加算される。(例) 1行政区に自治公民館等が3カ所ある場合は20万円となる。

問 新型コロナウイルス感染症対策自主防災組織活動支援金の内容は。

答 対象団体は、自主防災組織単位で考えている。

問 自主防災組織は届出をする必要があるのか。

答 設立の届出をされ、組織として認められたところに対して活動支援金を交付することになっている。

問 小中学校へのコロナ対策支援も

答 小中学校の庁用器具の購入等ができる。

は、どういう物を購入するのか。

答 小中学校に児童生徒が1名から300名のところには1学校に100万円、300名以上のところには150万円が国から交付されることになっている。熱中症対策や感染症対策の備品として、サーモグラフィ※①やサーキュレーター※②の購入等ができる。



※①サーモグラフィ
Aー顔認識温度検知カメラ
※②サーキュレーター
直進性の高い風を発生させ
空気を循環する性能に特化
した家電製品

コロナ対策で妊産婦応援金を



問 妊産婦応援金に800名分の予算を計上しているが、どのような試算をしているのか。

答 令和2年4月28日から令和3年3月31日までの間に母子手帳を保有している八女市民を対象としており、母子手帳交付実績、月36名程度の22月分を計上している。

問 地域密着型整備補助金の内容は。

答 小規模多機能型居宅介護事業所1施設分の建設補助と、施設の開設準備支援経費として、定員1人につき、67万1千円の補助金を9室分、予算計上している。

決算審査で要望

審査において、①高齢者の日用品の買い物やゴミ出しなど困りごとへの支援体制の構築を早期に実践されること②市民の健康増進と医療費適正化を進めるため、健康診査の受診率向上を重点課題として、全庁体制で取り組みを実施されることを強く要望した。

議会の動き

8月

- 5日 議会だより編集委員会
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
- 11日 議会運営委員会
- 19日 総務文教常任委員会
厚生常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 26日 令和2年第5回定例会(招集日)
全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
- 31日 本会議(一般質問)～9月2日

9月

- 3日 議会運営委員会
本会議(議案審議)
全員協議会
予算審査・決算審査特別委員会全体会議
議会だより編集委員会
- 8日 各常任委員会・分科会～9日
- 14日 予算審査・決算審査特別委員会全体会議
- 16日 令和2年第5回定例会(最終日)
全員協議会
議会運営委員会

10月

- 5日 議会だより編集委員会
- 7日 全員協議会
新型コロナウイルス対策委員会
タブレット端末利活用専門部会
- 8日 公立八女総合病院企業団議会
- 13日 議会だより編集委員会
- 14日 八女中部衛生施設事務組合議会
- 21日 総務文教常任委員会
厚生常任委員会
- 26日 八女地区消防組合議会



審査の主なもの

- 八女市奥八女焚火の森キャンプフィールド条例の制定について 【全会一致で可決】
- 令和2年度八女市一般会計補正予算(第5号) 【全会一致で可決】
 - ・公害対策費.....2102万円
 - ・農地費.....5000万円
 - ・農林災害復旧費.....3270万円
- 令和元年度八女市各会計歳入歳出決算認定 【全会一致で認定】
- 令和元年度八女市水道事業会計決算認定 【全会一致で認定】



奥八女
焚火の森
キャンプフィールド
OKUYAMA TAKIBI no MORI CAMPFIELD

「焚火」と「森」をイメージしたロゴマーク

地域と連携し木育の推進と観光の振興を

- 問** 奥八女焚火の森キャンプフィールド施設の構成にある、おもちゃハウス兼母屋の内容は。
- 答** 木のおもちゃを設置し、まず木に触れあってもらう場である。戸外活動や木工体験などの活動にも使用を考えている。
- 問** キャンピンとコテージの概要は。
- 答** キャンピンは4人用でキッチンとシャワー施設がある。コテージは6人用でキッチン、浴槽、薪ストーブを設置する。寝室はマットレスを使用することで自由なレイアウトができ、利用者増にも対応が可能である。
- 問** 現在までの申請件数と今後の見込み件数は。
- 答** 7月末で133基となっており、最終的には240基を見込んでいる。
- 問** 浄化槽設置事業
- 答** 国は、7月3日から31日までを被災事業の対象としている。23日の農業用施設の突風被害も豪雨災害として上げていく計画である。
- 問** 小規模土地改良事業追加分の件数はどれくらいあるのか。
- 答** 農地52件、農業用施設68件で合計120件。
- 問** 豪雨による被害について
- 答** 7月23日の農業用ハウス施設等の突風被害は補助対象になるのか。
- 答** 国は、7月3日から31日までを被災事業の対象としている。23日の農業用施設の突風被害も豪雨災害として上げていく計画である。

一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数のなかで、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。

ここに掲載できない質問答弁は、八女市ホームページ等ご覧ください。各議員の顔写真横にあるQRコードをスマートフォン等で読み取ると、その議員の議会録画映像をご覧いただけます。

(データ通信料は利用者負担となります。)

一般質問

質問者	質問事項	掲載ページ
橋本 正敏	1 近年多発する自然災害に対する施策について 2 八女市合併10周年記念行事等イベントの開催について	9
青木 勉	1 令和2年7月豪雨災害について 2 八女市立学校再編整備基本構想について 3 「ふれあいの家南筑後」について	9
森 茂生	1 コロナ対策について 2 山下地区の水害について 3 地球温暖化対策について	10
牛島 孝之	1 八女市の教育問題について 2 八女市母子生活支援施設「ひまわり園」について 3 職員の労働時間、働き方改革について	10
高山 正信	1 飛形公園の整備について 2 新型コロナウイルス感染症の影響について 3 人・農地プランについて 4 中山間地域における土地改良事業について	11
川口 堅志	1 八女茶の補助金制度について 2 コミュニティ通貨について	11
萩尾 洋	1 買い物弱者の対応について	12
石橋 義博	1 八女市発展における今後の対策は	12
三角 真弓	1 社会福祉法改正による包括支援について 2 令和2年7月豪雨災害の検証は 3 第5次八女市総合計画策定の進捗状況について	13
松崎 辰義	1 学校教育について 2 災害対策について 3 同和行政について	13
栗原 吉平	1 新型コロナウイルス対策に伴う移住定住について	14
高橋 信広	1 新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立について 2 ふるさと納税について 3 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について	14

多発する自然災害への対策。山下地区 家屋浸水について今後の対応は

室長 放水路の完成で平成24年災同等の雨量に
対応予定である



橋
本
正
敏

映像配信
サイト



議員 水門、ポンプ等の増設はできないか。

室長 樋管増設は、堤体に空洞ができて強度が弱くなる危険がある。今のところ計画の変更はない。

議員 ドローンの活用・導入について

室長 現在、林業振興課に1台配備している。ドローンの操縦研修を受け、第一・第二整備室に配備を進めていく。

議員 災害担当職員の労働時間と健康管理は適正か。人員の補充配置等の考えはあるか。

室長 7月の残業時間は昨年比較で概ね倍である。月1回産業医の面談、臨床心理士によるカウンセリングを行っている。土木技術職員を今後も継続し採用予定である。

議員 今後の開催基準の考えや観光の取り組みは。

課長 福岡県要請の新型コロナウイルス感染症対策、イベント等の開催制限を参考に判断していく。

議員 12月に帰還する「はやぶさ2」に関するイベントは開催するか。

支所長 星の文化館において宇宙航空研究開発機構と協議を進めている。



山下地区の内水氾濫状況
7月6日午後6時半頃

※①樋管：堤防に設置するトンネル状の水路。洪水時は門を閉めることで堤防の役割を果たす。
※②堤体：堤防やダムの本体のこと。

令和2年7月豪雨災害の被害調査による 被災状況と災害要件は

市長 内閣府より激甚災害に指定されたところである



青
木
勉

映像配信
サイト



議員 被災箇所数と被害額、普通災害時の補助率と地元負担率は。

市長 掲載資料のとおりである。

議員 小規模災害、市単独災害の補助は考えているのか。

市長 小規模災害の復旧については小規模土地改良事業において実施していく。

議員 被災箇所数と被害額、普通災害時の補助率と地元負担率は。

市長 掲載資料のとおりである。

議員 小規模災害、市単独災害の補助は考えているのか。

市長 小規模災害の復旧については小規模土地改良事業において実施していく。

議員 八女市立学校再編整備基本構想について

議員 将来の小中学校統廃合の計画と現状把握はどうなっているのか。

教育長 八女市総合教育会議での協議、学校再編基本構想に基づく取り組みを検証しながら進めていく。

議員 見崎校区の統廃合への地元協議はどの程度進んでいるのか。

教育長 見崎中学校区の行政区への保護者説明会、行政区長会との懇談会を開催しており、今後は見崎中学校区の学校づくり推進協議会を発足し協議を進めていく。

議員 ふれあいの家南筑後について

議員 八女市としての取り扱いはどうなったのか。

教育長 施設廃止後も徐福像、記念碑等は残すよう県に対し要望し、地元協議も進めていく。

令和2年7月豪雨災害被災数・被害額・普通補助率・地元負担率

令和2年8月18日現在						
災害区分	工 種	箇所数 (件)	被害額 (千円)	国庫補助率 (%)	市補助率 (%)	地元負担率 (%)
公共土木災害	道路・河川	151	5,207,400	66.7	33.3	0
農業用施設・農地災害	農地	51	150,500	50.0	40.0	10.0
	農業用施設	32	199,000	65.0	25.0	10.0
林道施設災害	奥地(その他)	21	496,000	65.0(50.0)	35.0(50.0)	0

①市補助率の内、農業土木災害は八女市農林水産業施設復旧事業費分担金徴収条例に基づき、補助率90%までの差額を市費補助
②農業土木災害、林道施設災害の補助率は査定決定額により補助率増高申請を行い確定

森 茂 生

映像配信
サイト

山下地区の水害は水門が有効であったのか検証するべきでは

市長 放水路、水門との関係など県と協議する

コロナ対策について

議員 国は通知で、コロナ禍で休園した場合、保育士の賃金カットはダメ

だと言っている。また休職のため賃金を6割だけ支給している場合、残り4割は流用になると言っている。なぜなら国は保育園に通常通り委託費を満額支給しているからだ。更に通知では、保育士に今まで満額払っていないければ、本年2月に遡り一時金で支給せよとまで言っている。今後しっかりと監査するべきでは。

課長

給料の支払いの滞りがなければ、県と一緒に監査する。



山下地区の水害について

議員 排水ポンプは誰が責任を持って操作をするのか。

課長

県と管理協定書を結び、八女市となっているが、市は管工事協同組合に委託している。今回は当初だから操作要領を熟知している職員と一緒に操作した。

議員 最終的な管理責任者は誰か。

副市長 最終責任者は市長。

の影削なし。
温暖化による
異常気象は待た
ない。削減は待
たない。地球温暖
化による異常気
象は待たない。

八女市の母子家庭、父子家庭の数は現在何世帯あるのか

市長 母子家庭、父子家庭、養育者含め計574世帯である

牛 島 孝 之

映像配信
サイト

議員

八女市母子生活支援施設ひまわり園の現在の入所者数は。

市長 現在の状況は入所者数9世帯23人である。

職員については施設長1人、支援員3人を配置している。

議員 今後の施設について八女市の考えは。

市長 母子生活支援施設は、様々な生活課題を抱えている母子家庭を保護し自立することを目的とした、母子で生活ができる唯一の施設である。今後ともきめ細やかな配慮をしながら、また地域の皆様方の協力を得ながら運営を行っていききたいと考えている。



母子生活支援施設 ひまわり園

議員

八女市において給食費無償化という考えはないのか。

市長 今後新型コロナウイルス感染症がどういった推移をしていくのか十分把握しながら、また学校現場、あるいは子どもたちの家庭環境の問題、そういったことも含めて、教育委員会と協議しながらこれから進めていきたいと考えている。今日の段階で給食費を全面無償化というお答えはできない。今後状況によって教育委員会と検討していききたいと思っている。



映像配信
サイト



飛形公園の整備についてどのように考えているのか

市長 よりよい地域振興に向けて、具体的な事業化を検討する

新型コロナウイルス感染症の影響について

議員 公立八女総合病院において、短時間に検査結果が判明する検査機器の導入を検討されているが、いつの予定か。

課長 最速で10月末に導入できればということで、年内には実施をしていきたいとのことである。

議員 PCR検査費用の一部を市で補助することはできないか。

課長 市民への安心を届けるためにも、対象者を十分協議しながら、市としても支援を行っていき



県営中山間地域農村活性化総合整備事業により整備された立花2期地区(山下地区)の農業団地

人・農地プランについて

議員 人・農地プランの進捗状況は。

課長 アンケート集計が終了しており、11月までに地図の作成、令和3年2月にプランの公表を予定している。

中山間地域における土地改良事業について

議員 土地改良事業の今後の予定は。

市長 地域農業の状況把握に努め、地域に合った振興を図るため国や県の補助事業を活用した中山間地域の農業振興を図っていく。



映像配信
サイト



八女伝統本玉露の補助金制度の実態はどのようになっているか

市長 伝統本玉露生産支援として10アール当たり7万5千円支援

議員 八女伝統本玉露の今後の支援は。

市長 八女伝統本玉露は、日本茶の中で初めてG1認証を受けて、全国品評会でも19年連続産地賞に輝く、八女茶の牽引役であり、今後もしっかり支援する。

議員 手摘み碾茶の補助制度は、どのように考えているのか。

課長 高収益作物次期作支援交付金等を活用し、交付申請を行っていく予定である。

議員 八女茶生産調整交付金はあるのか。

課長 今後、九州茶産地協議会にて国に要望していく予定である。



急須でお茶を・・・

議員 コミュニティ通貨とは

市長 この事業は、市独自で発行する通貨をスマホで受け渡しするもので、加盟店舗が来店客に通貨を渡したり、地域イベントに参加した方が通貨を受け取ったり、人と人と地域の結びつきをつくり、コミュニティの形成と地域の賑わいを創出するものである。

議員 スマホ以外で使えるのか。

課長 今後の課題で検討中である。

萩尾洋



映像配信サイト



買い物弱者への対応策として、中心市街地への回遊性の確保はどうなったのか

市長 市街地循環線の導入について調査研究を現在進めている



議員 どのような事業所に、どのような調査依頼をしているのか。

課長 地域公共交通網計画や公共交通ガイドブック等の作成に携わった事業者に依頼している。現在運行しているふる里タクシーや定時の路線などを含めた運行形態や運行エリアのルート、運行時間帯、運賃の設定、運行車両といった部分の事業のスキーム・パターンの調査を考えている。

議員 ピンポイントにバス停を設置し、時間通りにバスが来て、買物や受診ができる。予約の必要

がない回遊性のバス運行が理想だと思うが、それも無料です。

課長 現在運行している部分（デマンド交通）もあるのですが、循環型の路線を入れることが得策なのか、また、どこか見直してやっていったほうがいいのか、今後検証させていただきます。

議員 ある自治体では商工会議所が電動カートを運行し、高齢者の買物・受診の手助けをしている。市としての考えは。

市長 高齢者対策の一環として考えていく課題だと認識している。

っと各交あるだ
とある情報あた
生活傾向なし、実
弱者増加と連携し
者・生活弱者はそ
買物の方々の関係
た方々の関係を見
買物の方々の関係
た方々の関係を見
買物の方々の関係
た方々の関係を見

石橋義博



映像配信サイト



コロナ不況の中で、今後、八女市における経済対策はどうされるのか

市長 がんばるバイ八女応援金や農林漁業応援金等を交付している



用拡大を図るよう企業誘致を要望しているが、工業団地の進捗はどうなっているのか。

課長 まだ地権者の承諾を得られず協議中である。

議員 具体的積極的な雇用拡大を進めていないような気がする。商工・農林漁業者に応援金を交付する等はあるが、抜本的な対策が示されていない気がする。

課長 精力的に取り組んでいる。

議員 コロナ禍の中で、飲食業は非常に厳しい状況にある。GOTOイートキャンペーン等にはどう対応するのか。

課長 商工団体と日々連絡を取りながら課題について協議している。

議員 融資等国の施策もあるが申し込み状況は。

課長 3月より始まった制度であるが、約700社が申請されている。大変厳しい状況と推察している。

議員 経済の活性化や雇

議員 医療や福祉事業を大々的に行い、雇用を伸ばし、八女市に貢献したいとの相談が私にはあった。市にはないのか。

課長 そういった医療関係の内容についての具体的な話をいただいたことはない。

議員 もっと積極的に経済対策に取り組み、人口減少に対応していただきたい。

課長 十分に検討し対応していきたい。



映像配信
サイト



令和3年4月に施行される社会福祉法改正での本市の具体的な取り組みは

市長 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制を構築する



地域共生社会の実現を！

議員 貧困や介護・孤立

などに対応する市町村の相談支援体制の強化のための理念は、断らない相談支援・伴走型支援、誰も置き去りにしない社会を目指すことである。

部長 コロナ禍による生活様式の一変もあり、今後の対策は。

今後重層的な福祉体制をつくっていくために、関係各課・支所間の連携・市民・団体・社協等々の関係者で協議していく。

令和2年7月豪雨の検証

議員 八女市の全避難所を担当副市長・部長は実

副市長 月2回の支所長会で十分に議論し対応。

第5次八女市総合計画の進捗状況について

議員 第4次八女市総合計画の検証として交通の手段を始めとする高齢者の安心安全な生活への対応はどう考えるのか。

市長 社会情勢及び市民ニーズの変化などを踏まえた検証を行う。

議員 持続可能な社会構築のための目標とされるSDGsの理念を取り入れてほしいが。

市長 研究して考慮する。



映像配信
サイト



安倍首相を始め国民全体が少人数学級を求めている。運動を広げてほしい

教育長 とても大事なことであり、今後もしっかりと取り組む

議員 2015年2月の

予算委員会、安倍首相は少人数学級をさらに広げるために努力する。萩生田文科相は、今回のコロナの実態を踏まえて、少人数学級の取り組みを加速させる必要がある。新しい時代を見据えた学校教育の実現に向けて、教育課程、教員免許、教職員の配置等、一体的に検討が行われており、今年度中には答申が出る予定だと言っている。

今度こそ学校、PTA、行政、市民が一体となって進める必要があると思うが。

教育長 今回のコロナ禍

で見えてきたことがいくつかある。1つはオンライン学習の環境整備、もう1つが学習支援委員やスクールサポートスタッフの配備、これらは目途が立っているが、もう1つは30人学級、少人数学級を実現していくこと。

6月から、わずかだが1クラスを2つに分けて分散登校を始めた。その際の先生の感覚は、きめ細やかな指導ができて、感染防止もできるので、少人数学級はとても大切だとのことである。



子どもたち1人1人が大切にされる社会へ

栗原吉平



映像配信
サイト



新型コロナウイルス対策に伴う 移住定住の施策について

市長 テレワークに向け家賃補助など住宅支援
情報等を発信する



南仙荘

議員 人口の動向についてどう分析されているか。
部長 働き盛りの生産年齢世代の転出超過が見られ社会減が出ている。
議員 地方創生で手厚い支援が行われているが。
副市長 子育て、住環境への支援や社会インフラを整備していく必要がある。
議員 多彩ある定住支援施策は見直しも必要では。
課長 他の市町村には負けない定住施策を展開している。ネットやチャシ等は再度調査し多くの方の目に届くよう努力する。

議員 移住促進するため
副市長 さらに地域コイン通貨制度等で市と関わっていく人を増やしたい。
議員 次期の第5次総合計画はどうするのか。
市長 時代と共に変化が大きいのので、短期のしっかりした計画をしたい。
 ※①サテライトオフィス 企業、団体の本社、本部から離れたところに設置したオフィス
 ※②つながるバス停 待合所を兼ねた市の交流拠点施設

新型コロナウイルスに対する市独自の 検査体制の構築が必要では

市長 公立八女総合病院にPCR検査機器を導入予定

高橋信広



映像配信
サイト



議員 厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリを普及させるために、健康ポイントの対象にしてはどうか。
課長 健康ポイント事業は、貯めにくい状況にあり、追加の実現に向けて前向きに検討する。
議員 新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立について、市長の見解は。
市長 非常に難しい問題で、両面の対策が重要と認識している。イベントについては、地域の意見を尊重しつつ、できるものは開催するよう努力していく。
議員 厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリを普及させるために、健康ポイントの対象にしてはどうか。
市長 総額約6億円と大幅に増加したが、返礼品の充実やポータルサイトの追加等の対策が功を奏した。
議員 1件当たりの平均寄付額約2万円を上げる対策が必要では。
課長 一定の期間に毎月お礼の品を送る、いわゆる定期便を効果がある方法として研究したい。

コロナ禍においては、ふるさと納税は注目の一つ。10億円突破のチャンス！

新型コロナウイルス接触確認アプリのインストールをお勧めします

自分をまもり、大切な人をまもり、
地域と社会をまもるために、
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省
新型コロナウイルス
接触確認アプリ
COCOA
COVID-19 Contact Confirming Application

COCOAは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができます。スマートフォンでのアプリです

※基本情報

○本アプリは、利用者に本人の同意を前提に、スマートフォンの位置情報機能（Bluetooth）を利用して、お互いから知らないユーザーと接触した可能性について、通知を受け取ることができます。

○利用者は、匿名性と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の抑制につなげることが期待されます。

1ヶ月64円、15歳以上の利用に可能

アプリのインストールから
個人情報はこちらから

厚生労働省 内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策推進室

新しくなった北山保育所

〈厚生常任委員会〉

7月15日

7月15日に八女市立北山保育所を調査しました。今回の調査は、旧園舎が築42年を経過し、耐震不良や老朽化が顕著となり新たな園舎が建設されたため、施設の安全面や園児の状況等について調査したものです。

【新園舎の概要】

新園舎は、隣接地2256㎡を取得し、鉄筋コンクリート造2階建、延べ床面積925㎡の規模で、令和元年5月に着工、本年6月に竣工しました。



階段下を活用した図書コーナー

総事業費は約5億3200万円で、財源には過疎対策事業債や施設整備

事業債などを充てています。令和2年度には、旧園舎を取り壊して約70台が駐車可能な駐車場を整備する計画です。

園児は、北山・白木地区を中心、三河・八幡・岡山地区から66名(定数70名)が7月13日から生まれ変わった園舎に通っています。

大変立派な園舎が建設されており、利用する園児たちの笑顔に八女市の明るい未来を感じました。利用を始めたばかりであり、今後様々な問題や不備な点が生じてくることも予想されます。

【調査概要】

まず担当課から事業の経過と施設概要の説明を受けました。

委員からは、水害直後でもあり、周辺地域の冠水によって園への通行が不能となった時の対応や



担当課からヒアリング

八女産材の活用状況、旧園舎の活用策、1階建の考えはなかったのかなどの質疑がありました。

その後、園舎内を確認・点検し、不測の事態が発生するような箇所について指摘し、対応を要望しました。

調査を終えて

調査を終えて

大事な子どもさんを預かっている中で不測の事態がないように、保育士及び市当局の心配りを期待するものです。

(田中 栄一)

令和2年7月豪雨の概況

大雨特別警報が(7月6日午後4時30分〜7日午前11時40分)発令されました。7月5日午後11時から14日午後3時までの雨量が、矢部村宮ノ尾で1248mm、最大時間雨量82mm(7日午前2時50分)を記録し、この豪雨により市内各所に甚大な被害が発生しました。

【立花支所管内】

- ・市道下辺春・白木線 平成30年に被災した隣接地の路肩崩壊
- ・市道下辺春・白木線 地すべり・路肩崩壊

【上陽支所管内】

- ・北川内公園 地すべり災害
- ・市道久木原中央線 路肩崩壊

【星野支所管内】

- ・市道星野・石割岳・黒木線 路肩崩壊

【矢部支所管内】

- ・市道宮ノ尾・御側線 法面・路肩崩壊

【黒木支所管内】

- ・市道吹春・弓掛線 山腹崩壊・道路閉塞

令和2年7月豪雨による被災現地の調査

〈建設経済常任委員会〉

7月21日

令和2年7月豪雨 被害概況 (8月3日午前9時現在)

種別	被害数	
人的被害	0人	
住家被害	全壊	1棟
	半壊	0棟
	準半壊	12棟
	一部損壊	36棟
	床上浸水	35棟
	床下浸水	21棟
非住家被害	7棟	
道路被害	275箇所	
河川被害	140箇所	
土砂災害	12箇所	

調査を終えて

今年も豪雨により多くの大規模な被害が発生しました。改めて自然の脅威を感じています。被災による日常生活への影響は甚大です。



ひび割れ路肩が崩壊した下辺春・白木線

昨年の災害復旧も一部未完了の上、コロナ禍の厳しい環境の中、作業を担って奮闘いただいている関係各位に心より感謝と敬意を表する次第であります。

(堤 康幸)

八女市議会基本条例を見直し一部改正 請願者の意見陳述が可能に

〈議会運営委員会〉

八女市議会基本条例は、議会における最高規範として平成22年2月に施行されました。10年が経過した中で、昨年12月に議会基本条例作業部会が設置され、十分な検証を行い、見直し案を策定しました。

これを受けて議会運営委員会において議論を重ね、9月定例会に「八女市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について」の議案を提出した結果、全員賛成で可決し9月16日から施行されています。

概要として、請願における請願者の意見を聴く機会を設けること、委員会の活動原則を整理すること、党派結成、災害対応の項目等、必要な改正を行いました。

※改定版の八女市議会基本条例は、ホームページでご覧いただけます。

請願を 市民の政策提言に

第5条（市民参加及び市民との連携）に、請願に関する条文を追加しました。

「議会は、市民からの請願を政策提言と位置づけ、その審議において、請願者の意見を聴く機会を設けるものとする。」

請願は市民からの政策提言という考えにより、市民の声を市政に反映できる一つのあり方を示しました。また、審議において、紹介議員にしか説明の場がなかったところを、請願者自ら趣旨説明ができるようになりました。

なお、陳情については従来通りの扱いとなりますので、ご注意ください。

権限を生かした 委員会活動に

第11条（委員会の活動原則）を全面的に改正し

ました。中でも、第2項には委員会として重要な条文を明記しました。

議会としての 災害対応は

「委員会は、審査等に当たって、委員相互の議論を行い、委員会としての合意形成を努めるとともに、必要に応じて、市長等に対して要望及び政策提言を行うものとする。」

委員会には、一定の権限を有していますが、それを生かして、市民の福利のため

第21条（災害対応）を追加しました。第2項に、災害時に議会が市民の安全を守るために、行動することを明確にしました。

「議会は、市民の生命及び財産を災害から保護するため、八女市災害対策本部とともに、防災活動を実施する。」

平成24年の九州北部豪雨を機に、議会は災害対応要領を策定しました。今回、議会基本条例に必要な条文を明記しました。他に、災害時においても議会の機能が維持できること、議員が災害時に対応できるための知識の習得等を明示しました。

（高橋 信広）



請願は、市民の皆さまの要望・意見を市政に反映させる一つの方法として、議会に設けられている制度です。誰でも行うことができますが、提出の際、議員の紹介が必要となります。

市政についての要望があるときは 市議会に対して請願書や陳情書を提出できます

請願

市議会議員の紹介が必要です。各常任委員会で内容を審議し、本会議で採択・不採択の結論を出します。

審議では紹介議員が説明を行っていましたが、請願者自ら説明できるようになりました。

採択した請願は、請願者に通知するとともに、市長などに送付します。

陳情

市議会議員の紹介は不要です。各常任委員会に送付しますが、採択・不採択の結論は出しません。

請願

八女市への請願を採択

八女市PTA連合会から、「学校給食費の公会計化」の導入に関する請願が提出され採択しました。採択した請願は、八女市長及び八女市教育委員会に送付しました。

「学校給食費の公会計化」の導入に関する請願（要旨）

学校単位の給食費管理では給食の公平性に欠ける。給食費徴収における保護者の負担軽減、現金取り扱いの事故防止、教職員の徴収管理の負担軽減のため、学校給食費の公会計制度を導入し、八女市が一括徴収・管理していただきたい。

請願者：八女市PTA連合会 会長 植本 哲司
紹介議員：高橋 信広

【委員会審査における主な質疑】

問 八女市立学校の給食費の徴収は、現在どのようになっているのか。

答 地域の担当保護者が現金で回収し、振り込む方法や、口座引き落としなど学校により異なっている。

意見書

地方の声を国政へ

9月定例会に提出された「地方財政の充実・強化を求める意見書採択のための請願（請願者：角田恵司、紹介議員：川口誠二）」を採択し、意見書が委員会から提案されました。また、議員提出議案として「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」が提案され、いずれも可決しました。可決した意見書は、内閣総理大臣ほか関係大臣等に送付しています。

地方財政の充実・強化を求める意見書（要旨）

地方自治体は、より複雑化した行政需要への対応や新型コロナウイルス感染症対策、多発している大規模災害、防災・減災事業の実施など緊急な対応を要する課題にも直面している。公的サービスを担う人材に限られる中で、新たなニーズへの対応等が困難となっており、これに見合う地方財

政の確立を目指す必要がある。

このため、2021年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、自治体の財政需要を的確に見積もり、人的サービスとしての社会保障予算の充実と地方財政の確立を目指すため、地方一般財源総額の確保をはかることなどを求める。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（要旨）

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、

地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想されている。

このことから、国において、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保するよう、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向けた取り組みを実施することを強く要望する。

9月定例会の結果と賛否 (令和2年第5回定例会)

議案番号	議案名	採決結果
議案第87号	専決処分について(令和2年度八女市一般会計補正予算(第4号)) 説明: 令和2年7月の豪雨災害復旧費用として	承認(全会)
議案第88号	八女市大坪奨学基金条例の一部を改正する条例の制定について 説明: 大坪氏外5名の方から新たに基金の寄付を頂いたことによる改正	可決(全会)
議案第89号	八女市社会福祉施設設置条例の一部を改正する条例の制定について 説明: 八女市立北山保育所新園舎代表地番変更のための改正	可決(全会)
議案第90号	八女市奥八女焚火の森キャンプフィールド条例の制定について 説明: 八女市黒木町笠原にキャンプ場を設置するため新たに条例を制定	可決(全会)
議案第91号	指定管理者の指定について 説明: べんがら村の管理運営を株式会社YMサービスに決定する事項	可決(多数)
議案第92号	令和2年度八女市一般会計補正予算(第5号)	可決(多数)
議案第93号	令和2年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第1号)	可決(全会)
認定第1号	令和元年度八女市各会計歳入歳出決算認定について	認定(多数)
認定第2号	令和元年度八女市水道事業会計決算認定について	認定(全会)
請願第1号	「学校給食費の公会計化」の導入に関する請願	採択(全会)
請願第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択のための請願	採択(全会)
委員会提出 議案第2号	八女市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	可決(全会)
委員会提出 議案第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書	可決(全会)
議員提出 議案第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決(全会)
人権擁護委員候補者の推薦について 《小川 完、橋本 重喜》		適任と認める

は賛否が分かれた議案です

徹底しよう 三ない運動

贈らない! 求めない!
受け取らない!

選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区内の人に寄付を行うことは禁止されています。有権者が求めてもいけません。

冠婚葬祭における贈答やお歳暮・お中元なども寄付になるので、ご注意ください。年賀状や暑中見舞状などの時候のあいさつを出すことも「答礼のための自筆によるもの」以外は禁止されています。

賛成・反対が分かれた議案の賛否一覧

○：賛成
●：反対
欠：欠席
―：議長
議長は採決に加わりません

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	中島 信二	高山 正信	青木 勉	川口 堅志	橋本 正敏	田中 栄一	堤 康幸	高橋 信広	石橋 義博	牛島 孝之	萩尾 洋	服部 良一	大坪 久美子	寺尾 高良	栗原 吉平	三角 真弓	森 茂生	栗山 徹雄	井上 賢治	川口 誠二	松崎 辰義	角田 恵一
議案第91号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	欠	―
議案第92号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	―
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	―

報告（報告事項のため採決はありません）

報告第6号	株式会社クリエイトやべの令和元年度決算及び令和2年度事業の計画の報告について
報告第7号	一般財団法人星のふるさとの令和元年度決算及び令和2年度事業の計画の報告について
報告第8号	一般財団法人秘境柚の里の令和元年度決算及び令和2年度事業の計画の報告について
報告第9号	一般財団法人FM八女の令和元年度決算及び令和2年度事業の計画の報告について
報告第10号	令和元年度八女市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

市民と議会の意見交換会を中止します

毎年開催をしておりました、「市民と議会の意見交換会」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを払拭することができないことから、今年度中の開催を中止することといたしました。市民の皆さまの健康と安全確保のため、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

議会の コロナ対策 手指消毒や手洗い マスク着用の徹底を！

八女市議会では、新型コロナウイルス感染症の予防や危機管理のため、会議等の開催時における会議室の換気や手指衛生の徹底、マスクの着用、健康状態の確認などを行っています。市民の皆さまにおかれましても、議会の傍聴の際には、手指消毒やマスクの着用、検温などにご協力をお願いいたします。



聞いてきました まちの 声

表紙によせて VOL. 3

八女手すき和紙組合 組合長 松尾 和博 氏

世界無形遺産登録の実現に向けて！



版画家の棟方志功も愛したという八女の手すき和紙。その歴史や組合活動、今後の目標などを松尾和博組合長に伺いました。

後継者の確保が厳しい中、何としても伝統技術を継承していくという強い思いと壮大な夢を語られる前向きな姿が印象的でした。

八女手すき和紙の歴史をお聞かせください。

八女手すき和紙は、九州で最も古く、今から400年ほど前の文禄4年（1595）全国行脚の途中に立ち寄った日蓮宗の僧・日源上人が、越前国（現・福井県）に伝わる紙の技術を伝授したことから始まったようです。

八女産ならではの特徴と適した商品についてお尋ねいたします。

コウゾという木の樹皮繊維が原料ですが、繊維が長いと、引きが良く腰が強く丈夫な和紙に仕上がることが特徴です。

それを生かして、大半は掛け軸の裏紙等の表装紙として利用されています。

組合の設立や活動についてお聞かせください。

当初は27事業者によって筑後手すき和紙組合という名称で始まり、昭和47年に福岡県の無形文化財に指定されました。

現在は6軒の会員で活動していますが、名刺、便箋など新商品の開発や海外向けの試作品制作等、新たな挑戦も行っています。

活動中にご苦労されていることはどのようなことでしょうか。

伝統産業はどの業界も技術を継承することが重要な課題だと思います。何と云っても、後継者をつくるのが一番の悩みの種です。

今後の目標について教えてください。

2014年に、石州半紙等3つの手すき和紙が世界無形遺産に登録されました。その後、全国的な手すき和紙の登録に向けた動きがあり、厳しい道りではありますが、世界無形遺産登録を目標として頑張っています。

市議会へのメッセージをお願いします。

市民の代表であることを忘れずに、市民の生活が向上するための行動を期待しています。

議会を傍聴しませんか？ 次回定例会

11月30日(月)予定
立花庁舎議場 午前10時から
八女市議会事務局 23-4922



スマートフォンやタブレット端末で
議会中継を見ることができます

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12>
インターネットから「八女市議会」を検索
「議会インターネット中継」をクリック！

編集後記

新型コロナと異常気象、これらはどこかで関連しているかと唱えるのは広井京大教授。▼人間の経済活動の規模が地球の許容度を越えており悲鳴を上げて訴えているというのです。▼これらの問題を克服するためにも、温室効果ガスやプラスチックゴミの削減など環境問題について、ともに考え、ともに行動しましょう。

田中 栄一

発行責任者

議長 角田 恵一

議会だより編集委員会

委員長 高橋 信広

副委員長 大坪久美子

委員 松崎 辰義

委員 井上 治

委員 牛島 孝之

委員 堤 康幸

委員 田中 栄一

委員 川口 正信

委員 高山 正信

